

3801: 金蛇^{かなへび}が龍^{りゅう}に見えたなど、針小棒大^{しんしょうぼうだい}もいいところです。

3802: 去年^{きょねん}のウィニングランの思い出^{おもいで}を、一晚^{ひとばんじゅう}中間^{ちゅうかん}かされました。

3803: クアルテットの演奏^{えんそう}会^{かい}を控^{ひか}えて、彼^{かれ}と喧嘩^{けんか}しました。

3804: イエーガーさんの法螺吹^{ほらふ}きの甚^{はなは}だしさは、何^{なん}とかならないのですか？

3805: ニエンさんが腸捻転^{ちようねんてん}になって、入院^{にゅういん}してしまったのです。

3806: ツアーリの即位式^{そくいしき}が、厳^{おごそ}かに行^{おこな}われています。

3807: くうー痺^{しび}れる、こんなに恋焦^{こいこ}がれる気持^{きもち}ちは、初^{はじ}めてなんです。

3808: ハンガリーのギエネシュディアーシュで作^{つく}られた、尊^{とうと}い掛^かけ軸^{じく}です。

3809: この成果^{せいか}は、ジュヌヴィエーヴ様^{さま}のご協^{きょう}力^{りよく}に因^よるものです。

3810: ドゥーイットユアセルフこそが、峠越^{とうげこ}えに重^{じゅう}要^{よう}なのです。

3811: グラム土産^{みやげ}のコーヒーを淹^いれてあげたのに、不^ふ満^{まん}だと言^いうんです。

3812: ペーターソンさんなら、キトゥリちゃんと一^{いっ}緒^{しょ}に外^{がい}出^{しゅつ}しました。

3813: なんでえなんでえ、挫^{くじ}けてる場合^{ばあい}じゃない、目^め指^さすは世^せ界^{かい}制^{せい}覇^はです。

3814: 帆^ほに豆苗^{とうみょう}を描^{えが}いた帆船^{はんせん}が、大海原^{おおうなばら}を進^{すす}みます。

3815: 足^{あし}を怪我^{けが}したピョートルは、テヨテヨテヨと変^{へん}な声^{こえ}を上げました。

3816: てゃーと気合^{きあい}を入れて、牙^{きば}を剥^むいたライオンに飛^とび掛^かかりました。

3817: この襖絵^{ふすまえ}は、有^{ゆう}名^{めい}な書家^{しよか}の作^{さく}で、八^{はっ}百^{ひゃく}万^{まん}円^{えん}もします。

3818: ジョヴォヴィッチの突^{とつ}然^{ぜん}の告^{こく}白^{はく}に、マーシイが困^{こん}惑^{わく}しています。

3819: ピノキオはベビーベッ^ゆドを揺^ゆすぶり、子守歌^{こもりうた}を歌^{うた}います。

3820: ハチャトウリアンは、クオークの教^{きょう}科^か書^{しょ}を、デスクの上^{うえ}に載^のせました。

- 3821: そのバンドのローディは、一升瓶を担いでスキップしました。
- 3822: 愛媛では、半魚人の発掘作業が、佳境に入りました。
- 3823: グエンさんと背比べなんて、あたくしが負けるに決まっています。
- 3824: 有名なツエルニーの練習曲で、ピアノの稽古をします。
- 3825: 可愛いにゃんこの柄の着物を身に着けて、お出掛けします。
- 3826: 源汰は、ヴォルケーノが熱い溶岩を噴くのを見ていました。
- 3827: ロンセスバリーエスの親戚がくれた、缶詰を食べますか？
- 3828: おいらみたいな不細工、誰も顧みてくれないのは分かっています。
- 3829: ベートーヴェンを聴きながら、逮捕術を学ぶと効果的です。
- 3830: ゾンビの写真撮るのは、ちょっとばかり骨が折れるのです。
- 3831: あの岸壁の向こうに、七十羽程の白鳥が見えます。
- 3832: 食卓には、美味しいリングイネの準備が整っております。
- 3833: グレイトなティーチャーになるのが、フォンの嘗ての夢だったのです。
- 3834: 菜の花の咲く丘の上で、小父さんとミュージカルを観ました。
- 3835: ミスターテューダーが、祖父母の弔問に訪れてくれました。
- 3836: 社内報に金剛力士像が載っていて、ときめきました。
- 3837: 煎茶を零度の氷水で抽出すると、とても美味しいです。
- 3838: イフレレー・ミエンコは、女王の戴冠式の準備に掛かりました。
- 3839: 弊社でプチトマトのケーキを開発した理由を述べます。
- 3840: 夕暮れの丘陵は、ヴァーミリオンに輝き燃えるようでした。
- 3841: たった五つの子がトゥシューズを履くのは、早過ぎると思います。

- 3842: 弘前では、操はスィーリアちゃんと、とっても仲良しでした。
- 3843: スチュワートは、不思議なオーヴの力で、ドラゴンを操ります。
- 3844: 有機栽培に尿尿を使うなら、堆肥化する必要があります。
- 3845: 文化祭のラスト、広い校庭で、フォークダンスを踊ります。
- 3846: 袋一杯のジャガ芋でコロツケを作り、販売します。
- 3847: ヴィクトリアは、事件が起こると探偵ごっこに夢中になります。
- 3848: ジェンセンの歌詞は抒情的で、聴くたび涙が零れます。
- 3849: 兵藤さんは、碁会所に足繁く通うようになりました。
- 3850: 珠子は、ウェイトレスが盛り付けた、ガパオライスを眺めました。
- 3851: 秋保温泉の地名の由来が、注目されています。
- 3852: デュパンは乾漆仏を見詰めて、ぐっと涙を堪えました。
- 3853: 白衣観音を拝んだら、悩みも雲散霧消しました。
- 3854: 兄様にとって、皇帝の座は絶対に譲れないものです。
- 3855: フィリピンの伯母が、大学受験の勉強を始めました。
- 3856: ジュリアが、豆乳を注ぎながらハミングするのが聞こえます。
- 3857: シベリアの冬は寒いけれど、病院の中は暖かいです。
- 3858: 叔父のジョゼフが、運転免許を返納すると言い出しました。
- 3859: ひえー、偽札作りなんて、協力出来る訳がありません。
- 3860: 折り鶴はこの国ではポピュラーで、多くの人が作れます。
- 3861: 植木の水やりに如雨露を用いるのは、当たり前のことです。
- 3862: 沢山の若人が、マリトッツォを食べ歩いています。

3863: ライプツイヒ出身しゅっしんのムッシュハイインリヒは、朗ほがらかな方かたです。

3864: ウォーリーが、ピニャコラーダを一つ注文ひと ちゅうもんして、飲のんでいました。

3865: 貴女あなたのぎこちない笑顔えがおが、僕ぼくの心こころを照てらしてくれます。

3866: 咸臨丸かんりんまるで、ハンガリーのズィチウーイファルに行いきたいのです。

3867: ハートのクイーンは、裁判さいばんの行方ゆくえを愁うれえる日ひが続つづきます。

3868: リヤンメン待ちまだったのに、貧血ひんけつで倒たおれてしまったのです。

3869: チェストにたっぷり積つもっていた埃ほこりを浴あびせられたのです。

3870: お腹なかがぐうと鳴なって、堪たまらず卓袱台ちゃぶだいの箸はしを掴つかみました。

3871: フェーン現象げんしやうによる猛暑もうしょで、汗あせが滝たきのように流ながれます。

3872: びええんびええんと泣なく子供こどもらのため、歩合制ぶあいせいで頑張がんばります。

3873: 初めて百十番はじ ひゃくとうばんをしたのは、ジェイドが九ここのつの時ときでした。

3874: デャンフレスは、五人ごにんの甥おいっ子と姪こっ子を養やしなっています。

3875: 懷ふといに胡瓜きゅうりを忍しのばせて、河童探かっぱさがしに出掛でかけます。

3876: 喘息ぜんそくを堪こらえながら、漸近線ぜんきんせんを求もとめていました。

3877: デヨン君くんは、ウィリアムスンの事ことを見限みかぎったのだと思おもいます。

3878: システムの冗長化じようちようかの為ために、逸見君へんみくんは頑張がんばっています。

3879: 可愛かわいがっていた鸚哥いんこが逃げ、シヨスタコーヴィチは悲かなしみました。

3880: 岡部さんおかべは、仙台市太白区せんだいしたいはくにマンションを建たてました。

3881: ジョンがバックトゥザフューチャーを好このむのか、確たしかめたいです。

3882: ジェニーには、中州なかすのドラッグストアで買かったビューラーをあげます。

3883: キエーツと柄がらにもなく叫さけんで、長宗我部君ちようそかべくんが暴あばれています。

3884: 幾子ちゃんいくこちゃんが、ファックスで可愛いイラストかわいいいらすとを送おくってくれました。

3885: 飢饉ききんを無くす、グローバルなキャンペーンおこなが行おこなわれています。

3886: この不始末ふしまつは、後の世のちよにまで脈々みやくみやくと語り継つがれるでしょう。

3887: デュークは陛下へいかの前に跪ひざまずき、祈いのりを捧ささげました。

3888: こんな妥協だきようで迎むかえたフィニッシュでは、満足まんぞくできません。

3889: ヒューイットの事ことが忘れられないと、シャルルは嘆なげきました。

3890: 昨日きのうシゼットと会あったのですが、大分疲だいぶつかれていたようでした。

3891: ゾラは厭世えんせい的な気持ちいきもちで、独ひとりシエリー酒しゅのを飲みました。

3892: クエックエツと鳴なく海鳥うみどりの声こえを聞きくと、船酔ふなよいが酷ひどくなりました。

3893: 子猫こねこをお風呂ふろに入いれたら、ぴえーぴえーと鳴ないて嫌いやがりました。

3894: 湯たんぽゆは便利べんりですが、低温火傷ていおんやけどは回避かいひしましょう。

3895: ルックスとギャップいがあると言いわれますが、実じつは尽くすタイプです。

3896: パパがあおとうの男しんそにんを心底憎しんでいたこと、知しっていますか？

3897: グオンさんの眩まぼゆい美うつくしさ、最早罪もはやつみだと思おもいませんか？

3898: 亮りょうが、執筆中しつぴつちゅうの戯曲ぎきよくの梗概こうがいを話はなしてくれました。

3899: ルディが白衣はくいに牛乳ぎゅうにゅうを零こぼして、ぎゃあぎゃあ叫さけんでいました。

3900: 土手どてに独ひとりで座すわっている子こ、ひよつとしてピョンピョンちゃんですか？

3901: ドーウェル君くんは、ピンクの表紙ひょうしの手帳てちょうを、大切たいせつにしている。

3902: てやんでえ、弁償べんしょうなんかやってられっか、と祖父そふは啖呵たんかを切きった。

3903: あれがドウカールきゅうでん宮殿ことである事は、一目瞭然いちもくりようぜんだ。

3904: グオノさんの才能さいのうが埋うもれてしまうのは、勿体無もったいない事ことだ。

3905: 吾輩わがはいのご主人様しゅじんさまは、大学だいがくで教鞭きょうべんを執とっているのだ。

3906: 齋藤さいとうさんの義理ぎりの弟おとうとが、クウェートに居いる劉りゅうさんだ。

3907: 梶山家かじやまけは兄弟きょうだい揃そろって、コンピューターが大だいの苦手にがてだ。

3908: ウォルトの、ホロスコープを使つかった占うらないは、大評判だいひょうばんだ。

3909: リシユリユーが、年収ねんしゅう九百きゅうひゃく万円まんえん希望きぼうって本当ほんとうか？

3910: 恵美えみはクラス一の優等生ゆうとうせいで、ファンシイな文房具ぶんぼうぐが好きだ。

3911: 隣家りんかの客人きゃくじんは、七ヶ浜町しちがはままちからやって来きたようだ。

3912: 鶏舎けいしゃから逃にげ出した鶏だが、そこら中じゅうか駆まわけ回まわっている。

3913: ソーニャには、便宜べんぎてき的に、松平まつだいらのグループに入はいってもらう。

3914: 口蹄疫こうていえきの流行りゅうこうを、絶対ぜったいに食い止めねばならない。

3915: そのフューエルタンクには、四葉よばのクローバーが描えがかれていた。

3916: これだけ証拠しょうこがあれば、もう民造たみぞうには、ぐうの音ねも出でない筈はずだ。

3917: 久遠氏くおんしと、ヒメルビエアウエズに登のぼったのは、良よい思おもい出でだ。

3918: 学年がくねんトップを死守ししゅしたら、このジュースィーなメロンが食たべられる。

3919: ラフマニノフのカデンツァは難むずかしいと、春香はるかは溜ため息いきを吐つく。

3920: 好きな人す　ひとに拒否きよひされるのは切せつないものだ、ジョナサンは言いった。

3921: クローゼットの扉とびらを開ひらくと、蝶ちようネクタイが並ならんでいた。

3922: ヴアルヴェルデに住すんでいた時の事とき　こと、俺おれに全すべて話はなして欲ほしい。

3923: クォーターバックの五十嵐いがらしさんは、大変富貴たいへんふつきな人物じんぶつだ。

3924: グインさんの功德くどくと言いったら、そりゃ並大抵なみたいていの物ものではない。

3925: 空そらに浮うかぶツェッペリンが、夕日ゆうひを浴あびて赤あかく染そまっていた。

3926: 裕ゆたかの経営けいえいする病院びょういんに、運転資金うんてんしきんを貸かした。

3927: インタビューで博士はかせは、氏うじより育そだちという諺ことわざに触ふれた。

3928: 流行りゅうりやうに疎うとくて、トレンディドラマだつて観みた例ためしが無いな。

3929: 銃後じゅうごの守まもりは任まかせたぜと言いつて、和也かずやは飛とび出だした。

3930: テヤルさんの助言じよげんのお陰かげで、鵜飼部長うかいぶちやうは無事ぶじ帰かえつて来きた。

3931: 僕ぼくのデーヴァは、愁うれいを帯おびた顔かおで、下界げかいを見下ろみおしている。

3932: 社長しゃちやうがひったくりに遭あつて、八百万円はつびやくまんえん盗ぬすまれた。

3933: ヒュウヒュウ木枯らしの吹き荒ふぶ夜更よふけ、白鼻はくびしん芯かが駆かけて行くい。

3934: 純菜じゅんなとは、キャベツとアンチョビのスパゲッティを食たべて別わかれた。

3935: 実家じっかに帰省きせいしたついでに、奥羽山脈おううさんみやくに赴おもむいた。

3936: クイリーヌスは、ローマ神話しんわの神かみだと、成人せいじんしてから知しった。

3937: 薫かおるさんは、テュルテュルの髪かみを目指めぎし、枝毛えだげと戦たたかっている。

3938: クアンジャンシジャンで食たべ歩あるきをする夢ゆめを、胸むねに秘ひめている。

3939: シェーンは何時いつも時間じかんに正確せいかくで、綽名あだなは歩あるく時計とけいだ。

3940: ジャスミンが見みたのは、宇宙空間うちゅうくうかんに漂ただようファンタジックな夢ゆめですか？

3941: 孫まじの七五三しちごさんのお祝いわいの料理りようりについて、悩なやんでいる。

3942: その条件下じょうけんかで、違法性いほうせいが阻却そきやくされるとは、考かんがえられぬ。

3943: スープに混まぜたモロヘイヤには、クエルセチンが多おほく含ふくまれる。

3944: 泌尿器科ひにょうきかの看板かんばんに、象ぞうのイラストが描えがかれている。

3945: 昔住むかしずんでいた家いえの奥おくに、阿弥陀如来あみだにょらいの木像もくぞうがあつた。

3946: まさか、あの組織そしきのリーダーが、グエンドリンだなんて知しらなかつた。

- 3947: ウイツシュリストに載^のっている物^{もの}から、贈答品^{そうとうひん}を選^{えら}ぶつもりだ。
- 3948: じゃんけん必勝法^{ひつしょうほう}を教^{おし}えてくれる機械^{きかい}を、発明^{はつめい}した。
- 3949: 渡邊^{わたなべ}が作る^{つく}ずんだブラマンジェは、頬^ほが落ち^おる美味^{おい}しさだ。
- 3950: 風情^{ふぜい}ある景色^{けしき}を見^みながら食^たべる、パンプディングは最高^{さいこう}だ。
- 3951: この土地^{とち}で乳牛^{にゅうぎゅう}を飼^かって、旨^{うま}いチーズやバターを作^{つく}る。
- 3952: パティシエはパイナップルを削^くり抜き^ぬき、中^{なか}に苺^{いちご}を詰^つめ込^こんだ。
- 3953: 開演時間^{かいえんじかん}を早^{はや}めるなんて、ミュラーから聞^きいていないぞ。
- 3954: サンテヨは、白^{しろ}いシャツに、ラナンキュラスの刺繡^{ししゅう}をしていた。
- 3955: ラズィーヤは、家政学部^{かせいがくぶ}、被服学科^{ひふくがく}の優等生^{ゆうとうせい}なのだ。
- 3956: 侮辱^{ぶじよく}された事^{こと}も、逆転^{ぎゃくてん}の発想^{はつそう}で受け止^うめてみよう。
- 3957: 閑散^{かんさん}としたパリの街^{まち}を、トウクトウクで走^{はし}り回^{まわ}った。
- 3958: ピエールの家の土蔵^{いえ どぞう}の扉^{とびら}は、固^{かた}く閉^とざされていた。
- 3959: ハオプトヴァツヒエに行^いく時^{とき}も、蕎麦殻^{そばがら}の枕^{まくら}を持^もって行^いく。
- 3960: 相性^{あいしょう}の良^よくない相手^{あいて}と居^いると、具合^{ぐあい}が悪^{わる}くなってくる。
- 3961: 小学校^{しょうがっこう}の時^{とき}は、中尊寺^{ちゅうそんじ}を度々^{たびたび}訪^{おとず}れた。
- 3962: 蓮^{れん}が岩手^{いわて}でパラグアイの人^{ひと}に会^あうのは、これ^はが初^{はじ}めてだ。
- 3963: お姉^{ねえ}ちゃん、キエルツェ旅行^{りょこう}の記憶^{きおく}が、もう薄^{うす}れかけているの？
- 3964: ラッツオーリにプレゼントする化粧品^{けしょうひん}を、買^かいに行^いくのだ。
- 3965: 徹夜^{てつや}で座禅^{ざぜん}を組^くむのは、エドモンドには流石^{さすが}に無理^{むり}だった。
- 3966: チェイニーの按摩技術^{あんまぎじゆつ}は、町中^{まちじゅう}で大評判^{だいひょうばん}だった。
- 3967: バロネス・オルツイのファンが増^ふえたら、墓田君^{ひきたくん}は喜^{よろこ}ぶかな？

3968: シャオラン兄貴が泉中央に居てくれて、丁度良かった。

3969: 公園で、シェエンシェエンと、キジトラの子猫が鳴いていた。

3970: ヴォーカルとギターが離婚したのは、もう五年も前の事だ。

3971: ザナドゥの旦那が、最も好きな飲み物は、ミントティーなのか？

3972: 米国人留学生達は、ポニーテールが好きだった。

3973: 際どい話になってきたので、ユーリヤはそつと席を立った。

3974: デュルケムの表情が曇るのを、土橋は見逃さなかった。

3975: 修学旅行で会津に行き、白虎隊について学んだ。

3976: 行方不明になったチャイヴを、龍彦はずっと探している。

3977: 沼田君は、同類項の意味がどうしても理解できない。

3978: 庭には瓢箪を植えようと、二人の意見が合致した。

3979: 妙な夢を見るのではないかと、不安で怖くて寝られない。

3980: 卓也のお姉さんが、アクウアルの使い手だとは、驚きだ。

3981: 挨拶に代えて、ヴィエリが描いた、デヨデヨの肖像画を贈る。

3982: イェソンとガブリエルは、裏庭を掃除して、落ち葉を燃やした。

3983: 由紀ちゃんと崇君は、蕃山にピクニックに出掛けた。

3984: フォークナーは、最寄りの交番に駆け込み、助けを求めた。

3985: サファイーネは、でやーと気合を入れて、鯨に銚を突き立てる。

3986: ブロッコリーは、殺伐とした空気に嫌気が差していた。

3987: 業務停止の圧力が強まり、ドルフィンは困惑した。

3988: 路子から、樹氷の撮影に成功したと、報告があった。

- 3989: 桃色ももいろのペチコートが欲しいと、ステファニーにねだられている。
- 3990: マリンブルーの液体えきたいだが、飲むと焙じ茶ほうちゃの味あじがして驚くおどろ。
- 3991: 立礼りゅうれいのお点前てまえの様子ようすを、フェルト細工さいくで再現さいげんした。
- 3992: 平城へいじょう京きやうが栄えていた時代じだいに、タイムスリップしてみたい。
- 3993: カフェバーリエゾンのマスターの、帳簿付けちやうぼつを手伝ったのだ。
- 3994: 鼠ねずみがぴよこんと顔かおを出したので、衛兵えいへいは吃驚びっくりした。
- 3995: ギェーという叫さけびに、思わず王冠おうかんを取り落おとしてしまった。
- 3996: ここで代休だいきゆうを取らせないと、リズィーが過労かろうで倒たおれてしまう。
- 3997: 樹理じゅりは、クラウドイアをギュッと抱だき締しめ、泣き叫なんで許さけしを請ゆるうた。
- 3998: ウォルフィとアンドレアスは、福島ふくしまの鍾乳洞しょうにゅうどうを訪おとずれた。
- 3999: 不遇ふぐうのウラディーミルは、ニエツトと叫さけんで海辺うみべへ駆け出かした。
- 4000: ヴィットリオは、何時いつも教室きやうしつに、薔薇ばらの花はなを絶たやさなかった。